

<年2回決算型・為替ヘッジあり>

第12期末 (2025年6月20日)

基準価額	8,491円
純資産総額	467百万円
騰落率	2.9%
分配金	0円

<年2回決算型・為替ヘッジなし>

第12期末 (2025年6月20日)

基準価額	10,380円
純資産総額	767百万円
騰落率	0.3%
分配金	200円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ／シュローダー・ グローバルCBファンド

(年2回決算型・為替ヘッジあり)

(年2回決算型・為替ヘッジなし)

【愛称】攻防兼備

追加型投信／内外／その他資産（転換社債）

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年12月21日～2025年6月20日

第12期（決算日 2025年6月20日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）／（年2回決算型・為替ヘッジなし）」は、このたび第12期の決算を行いました。

各ファンドは、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2024年12月21日～2025年6月20日

基準価額等の推移



第12期首	8,252円	既払分配金	0円
第12期末	8,491円	騰落率（分配金再投資ベース）	2.9%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはベンチマークを設けていません。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- 1月中旬から2月中旬にかけて、生成人工知能（AI）の技術進展や関連インフラへの巨額投資の発表に加えて、トランプ米大統領の関税政策が市場で楽観的に受け止められたことなどにより、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随したこと
- 4月中旬から当期末にかけて、トランプ米政権の関税政策を巡る懸念が後退したことなどにより、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随したこと

＜下落要因＞

- 2月下旬から3月中旬にかけて、トランプ米政権の関税導入の見方が高まったことに加えて、トランプ米大統領が短期的には市場や経済の痛みも辞さない意向を示したことなどから、株式市場、CB市場がともに下落したこと
- 4月上旬にトランプ米政権が貿易相手国に想定以上に厳しい相互関税を発表したことをきっかけに世界経済の景気後退懸念が高まり、株式市場、CB市場がともに急落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第12期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	46円	0.557%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,289円です。
(投信会社)	(13)	(0.159)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファン ドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務 付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	47	0.562	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

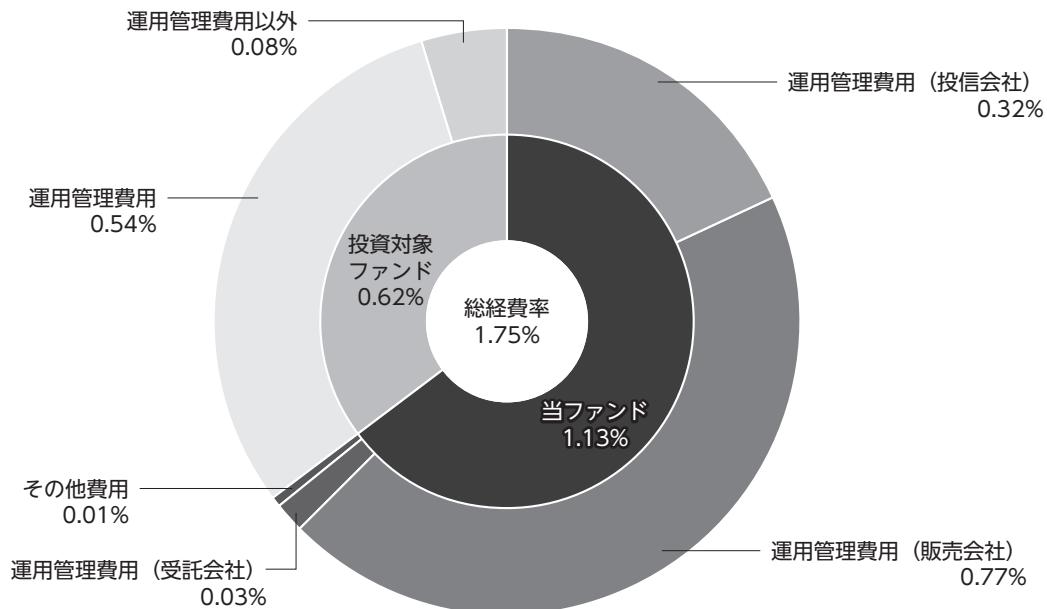
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

(参考情報)

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第12期首	10,547円	既払分配金	200円
第12期末	10,380円	騰落率（分配金再投資ベース）	0.3%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- 3月中旬から下旬にかけて、ドイツが財政赤字を一定の規模に抑える「債務ブレーキ」の枠組みを超えた大規模な財政拡大案について合意した旨が報じられ欧州金利が大幅に上昇したことや、欧州中央銀行（ECB）理事会の声明文で追加利下げに慎重な姿勢が示されたことなどにより、ユーロ高円安となったこと
- 4月中旬から当期末にかけて、トランプ米政権の関税政策を巡る懸念が後退したことなどにより、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随したこと

＜下落要因＞

- 2月下旬から3月中旬にかけて、トランプ米政権の関税導入の見方が高まったことに加えて、トランプ米大統領が短期的には市場や経済の痛みも辞さない意向を示したことなどから、株式市場、CB市場がともに下落したこと
- 4月上旬にトランプ米政権が貿易相手国に想定以上に厳しい相互関税を発表したことをきっかけに世界経済の景気後退懸念が高まり、株式市場、CB市場がともに急落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第12期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	58円	0.557%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,408円です。
(投信会社)	(17)	(0.159)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(40)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファン ドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務 付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	59	0.562	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

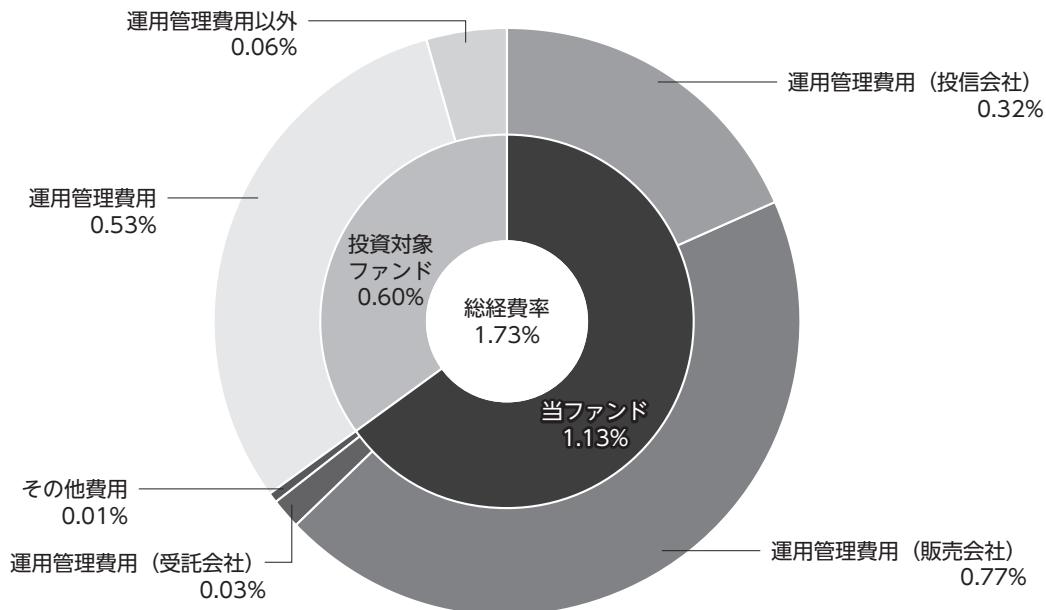
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

(参考情報)

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■グローバルCB市況

グローバルCB市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初から1月上旬にかけて株式市場、CB市場はともに方向感に欠ける展開となりましたが、1月中旬から2月中旬にかけては生成AIの技術進展や関連インフラへの巨額投資の発表に加えて、トランプ米大統領の関税政策が市場で楽観的に受け止められたことなどにより、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随しました。2月下旬から3月中旬にかけてはトランプ米政権の関税導入の見方が高まったことに加えて、トランプ米大統領が短期的には市場や経済の痛みも辞さない意向を示したことなどから、株式市場、CB市場はともに下落しました。さらに4月上旬にはトランプ米政権が貿易相手国に想定以上に厳しい相互関税を発表したことをきっかけに世界経済の景気後退懸念が高まり、株式市場、CB市場はともに急落しました。しかし、4月中旬から5月中旬にかけてはトランプ米政権の関税発動後初となる米英両国間での貿易協定がポジティブな材料となったことを受けて、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随しました。5月下旬から当期末にかけてもトランプ米政権の関税政策を巡る米中貿易協議進展への期待感や米雇用統計等の各種経済指標が堅調であったことなどにより市場の過度な懸念は後退し、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随しました。

■為替市況

米ドル／円相場は、期を通じて見ると米ドル安円高となりました。

期初以降、米ドル／円相場はレンジ圏で推移しましたが、1月中旬から3月上旬にかけては植田日銀総裁が追加利上げに前向きな発言をしたことや米消費者物価指数（CPI）が市場予想より下振れしたことから日米金利差の縮小が意識されたこと、さらに米雇用統計等の各種経済指標が弱含んだこと、トランプ米政権の関税政策によりリスクオフの展開となったことなどにより米ドル安円高となりました。その後、4月下旬にかけてはトランプ米政権の相互関税を含む関税政策の様々な報道により、米ドル／円相場は乱高下する展開となりました。5月中旬にかけては米国がイギリスとの貿易協定の締結に合意したことや中国との追加関税の大幅な引き下げ合意等を受けて、一時的に米ドル高円安に転じる場面もありましたが、当期末にかけては大手格付け会社が米国債の格下げを行ったことなどにより米ドル安円高となりました。

ユーロ／円相場は期を通じて見るとユーロ高円安となりました。

期初以降、おおむねユーロ高円安で推移しましたが、1月中旬から2月上旬にかけては日銀金融政策決定会合で0.25%の追加利上げを決定した一方で、ECB理事会では政策金利の0.25%の引き下げが決定され、金融政策の方向性の違いが市場で意識される中、ユーロ安円高基調となりました。その後、2月中旬にはウクライナの停戦交渉が開始されたとの報道を受けてユーロ高円安に転じる場面もありました。2月下旬にかけてはトランプ大統領の関税に関連する発言等を背景にユーロ安円高となりましたが、当期末にかけてはECB理事会の声明文で追加利下げに慎重な姿勢が示されたことに加えて、米国とイギリスが貿易協定の締結に合意したことや、米国・中国との追加関税の大幅な引き下げ合意等を受けてユーロ高円安基調となりました。

ポートフォリオ

■年2回決算型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

*主な投資対象となる「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」のマザーファンドについての説明であり、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、《為替ヘッジあり》については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に情報技術（27.7%）、一般消費財・サービス（14.0%）、資本財・サービス（13.0%）としています。

<国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（49.5%）、日本（13.4%）、ケイマン諸島（6.4%）としています。

<通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（69.8%）、ユーロ（17.1%）、円（13.1%）としています。

(注1) 業種配分、通貨別配分の比率は対組入債券評価額比、国・地域別配分の比率は対純資産総額比です。

(注2) 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICSレベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 国・地域はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送させていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年12月21日～2025年6月20日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	280円

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年12月21日～2025年6月20日
当期分配金（税引前）	200円
対基準価額比率	1.89%
当期の収益	35円
当期の収益以外	164円
翌期繰越分配対象額	379円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■年2回決算型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

トランプ米大統領による政策の不確実性が高まる中、米国の経済成長率は低下し、インフレ率は上昇する可能性が高いと考えられます。このような中、バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）の観点から見ると、米国一強であった近年の傾向が変わりつつあることが示されています。トランプ米大統領の主張する米国第一主義が、結果的に欧州諸国の結束を強め、欧州が再び「強大な地域」として台頭する可能性もあると考えています。

このような状況下で、株式と債券の特性を併せ持ったCBへの投資は、株式市場の上昇局面では株式の上昇に一定程度追随し、下落相場では下値を抑制するという点で魅力的であると考えます。今後の景気後退局面においては、下値を抑制するというCBの特性が発揮されることが予想されることから、今後も市場の動向を注視しつつ、より魅力的なCB銘柄の発掘に努めていきます。

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」では、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお「為替ヘッジあり」については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

	第12期末 2025年6月20日
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	99.5%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

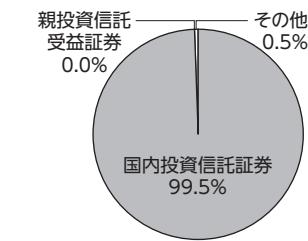
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

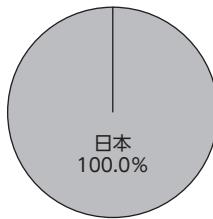
項目	第12期末 2025年6月20日
純資産総額	467,484,820円
受益権総口数	550,544,747口
1万口当たり基準価額	8,491円

(注) 当期間中における追加設定元本額は41,860円、同解約元本額は50,232,197円です。

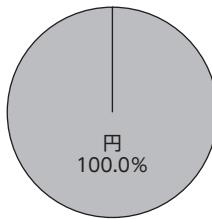
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年6月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

組入ファンド

	第12期末 2025年6月20日
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	99.2%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

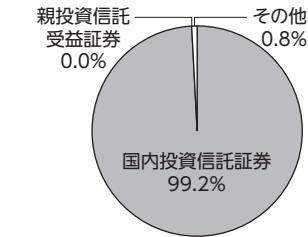
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

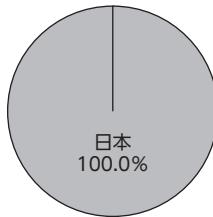
項目	第12期末 2025年6月20日
純資産総額	767,843,085円
受益権総口数	739,742,260口
1万口当たり基準価額	10,380円

(注) 当期間中における追加設定元本額は14,065,519円、同解約元本額は30,373,931円です。

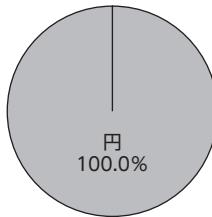
資産別配分



国別配分



通貨別配分

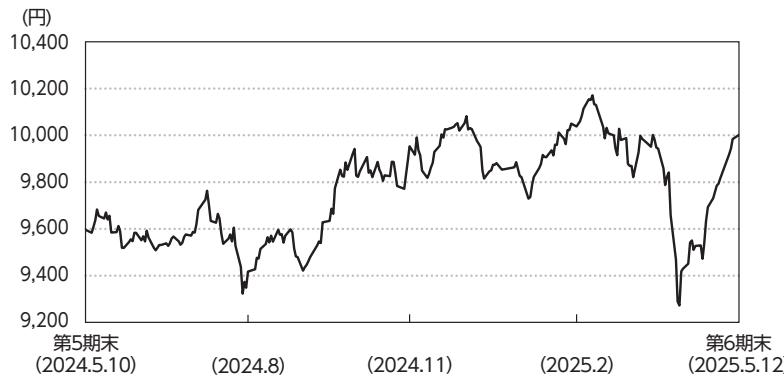


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年6月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなしの概要

＜シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり＞

■税引前分配金再投資基準価額の推移



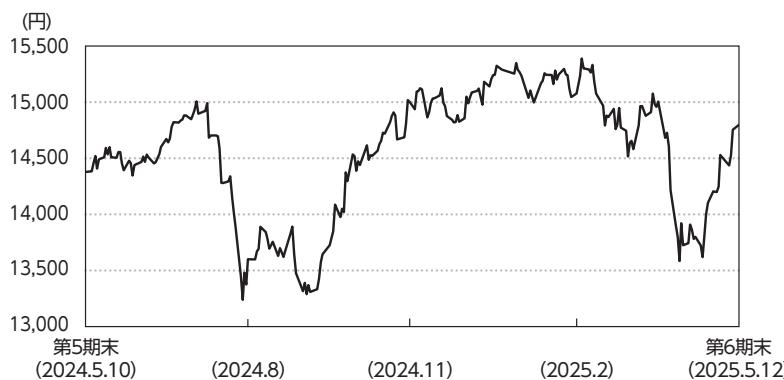
■1万口当たりの費用明細

2024.5.11～2025.5.12

項目	金額
信託報酬	52円
（投信会社）	(50)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(3)
その他費用	8
（保管費用）	(4)
（監査費用）	(1)
（印刷費用）	(2)
（その他）	(1)
合計	60

＜シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし＞

■税引前分配金再投資基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

2024.5.11～2025.5.12

項目	金額
信託報酬	78円
（投信会社）	(74)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(4)
その他費用	10
（保管費用）	(5)
（監査費用）	(2)
（印刷費用）	(2)
（その他）	(0)
合計	88

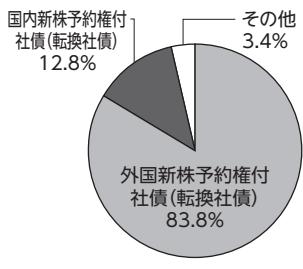
（注1）税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

（注2）1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものです。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。

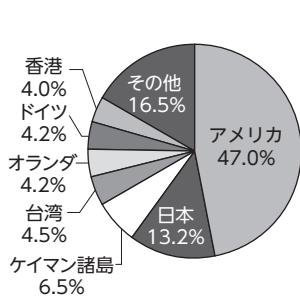
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
PING AN INSUR 0.875% CB	米ドル	2.4%
UBER TECHNOLO 0.875% CB	米ドル	2.0
LENOVO GROUP 2.5% CB	米ドル	1.9
ENI SPA 2.95% CB	ユーロ	1.7
JD.COM INC 0.25% CB	米ドル	1.5
GLOBAL PAYMENTS 1.5% CB	米ドル	1.3
SNOWFLAKE INC CON 0% CB	米ドル	1.3
MKS INSTRUMENT 1.25% CB	米ドル	1.3
MICROSTRATEGY 0% CB	米ドル	1.3
LIVE NATION E 3.125% CB	米ドル	1.2
組入銘柄数	142	

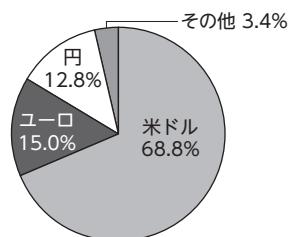
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



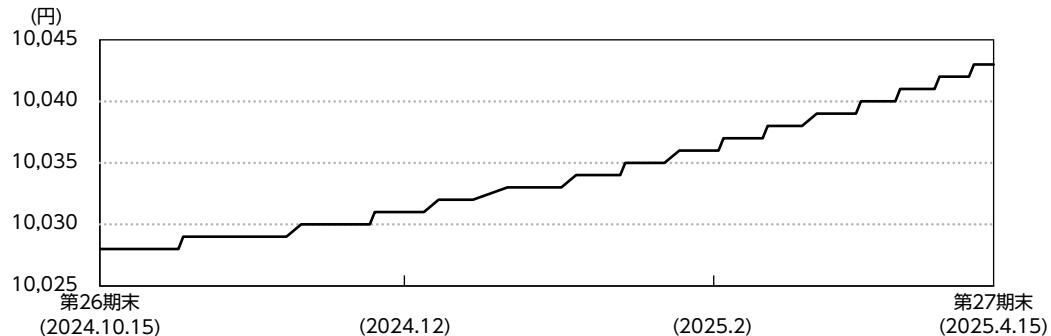
(注1) 組み入れているのは「シローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」ですが、上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は投資信託証券が投資しているマザーファンドの投資資産を表示しています。

(注2) 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年5月12日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しています。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■基準価額の推移



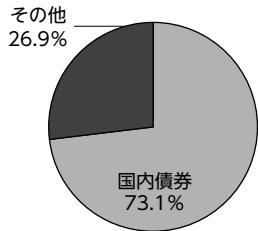
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第752回 東京都公募公債	円	9.9%
平成27年度第13回 京都府公募公債	円	8.9
第146回 共同発行市場公募地方債	円	8.7
令和2年度第10回 北海道公募公債（5年）	円	8.7
第74回 政保地方公共団体金融機構債券	円	6.6
第148回 共同発行市場公募地方債	円	5.0
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	円	4.5
第748回 東京都公募公債	円	4.3
第147回 共同発行市場公募地方債	円	4.3
平成27年度第3回 千葉県公募公債	円	4.3
組入銘柄数		12

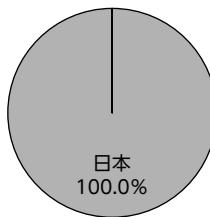
■1万口当たりの費用明細

当期（2024年10月16日～2025年4月15日）における費用はありません。

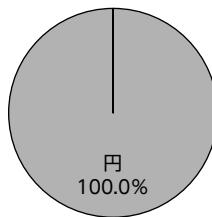
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注1） 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注2） 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年4月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注3） 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)			(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュローダー・ グローバル CBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	債券 組入比率	純資産 総額
		税引前 分配金	期中 騰落率				
8期(2023年6月20日)	8,444	0	1.8	9,644	98.5	0.0	百万円 756
9期(2023年12月20日)	8,178	0	△3.2	9,378	99.5	0.0	602
10期(2024年6月20日)	8,020	0	△1.9	9,220	99.5	0.0	509
11期(2024年12月20日)	8,252	0	2.9	9,452	99.6	0.0	495
12期(2025年6月20日)	8,491	0	2.9	9,691	99.5	0.0	467

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			シュローダー・ グローバルCBファンド (少人数私募)為替ヘッジあり	債券 組入比率
		騰落率	%		
(期首)2024年12月20日	8,252	—	—	99.6	0.0
12月末	8,275	0.3	0.3	99.7	0.0
2025年1月末	8,332	1.0	1.0	99.6	0.0
2月末	8,383	1.6	1.6	99.5	0.0
3月末	8,299	0.6	0.6	99.8	0.0
4月末	8,117	△1.6	△1.6	99.9	0.0
5月末	8,418	2.0	2.0	100.2	0.0
(期末)2025年6月20日	8,491	2.9	2.9	99.5	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2024年12月21日～2025年6月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	千口 -	千円 -	千口 45,196	千円 44,910

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2024年12月21日～2025年6月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2025年6月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	比率
千口	千口	千円	%	
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	501,401	456,205	465,147	99.5
合計	501,401	456,205	465,147	99.5

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	
千口	千口	千円		
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	10	

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は2,023,171千口です。

投資信託財産の構成

2025年6月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	465,147	98.9
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	5,000	1.1
投資信託財産総額	470,157	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年6月20日現在)

項目	当期末
(A) 資 産	470,157,510円
コール・ローン等	5,000,411
シュローダー・グローバル CBファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり(評価額)	465,147,078
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,021
(B) 負 債	2,672,690
未 払 解 約 金	36
未 払 信 記 報 酬	2,646,671
そ の 他 未 払 費 用	25,983
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	467,484,820
元 本	550,544,747
次 期 繰 越 損 益 金	△ 83,059,927
(D) 受 益 権 総 口 数	550,544,747口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,491円

(注1) 期首元本額 600,735,084円
 期中追加設定元本額 41,860円
 期中一部解約元本額 50,232,197円

(注2) 元本の次損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は
 83,059,927円です。

損益の状況

当期 (2024年12月21日～2025年6月20日)

項目	当期
(A) 配 当 等 収 益	5,408円
受 取 利 息	5,408
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	15,847,192
売 売	16,735,987
買 買	△ 888,795
(C) 信 記 報 酉 等	△ 2,672,654
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	13,179,946
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△135,096,368
(分 配 準 備 積 立 金)	(1,373)
(繰 越 欠 損 金)	(△135,097,741)
(F) 追 加 信 記 差 損 益 金*	38,856,495
(配 当 等 相 当 額)	(15,417,531)
(売 買 損 益 相 当 額)	(23,438,964)
(G) 合 計(D + E + F)	△ 83,059,927
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△ 83,059,927
追 加 信 記 差 損 益 金	38,856,495
(配 当 等 相 当 額)	(15,417,531)
(売 買 損 益 相 当 額)	(23,438,964)
分 配 準 備 積 立 金	5,979
繰 越 欠 損 金	△121,922,401

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,606円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	15,417,531円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,373円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	15,423,510円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	280.15円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)			(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュローダー・ グローバル CBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	債券 組入比率	純資産 総額
		税引前 分配金	期中 騰落率				
8期(2023年6月20日)	10,687	100	8.4	12,487	98.5	0.0	百万円 944
9期(2023年12月20日)	10,334	300	△0.5	12,434	98.6	0.0	898
10期(2024年6月20日)	10,657	600	8.9	13,357	99.5	0.0	879
11期(2024年12月20日)	10,547	400	2.7	13,647	99.4	0.0	797
12期(2025年6月20日)	10,380	200	0.3	13,680	99.2	0.0	767

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			シュローダー・ グローバルCBファンド (少人数私募)為替ヘッジなし	債券 組入比率
		騰落率	%		
(期首)2024年12月20日	10,547	—	—	99.4	0.0
12月末	10,786	2.3	2.3	99.7	0.0
2025年1月末	10,689	1.3	1.3	99.9	0.0
2月末	10,455	△0.9	△0.9	99.7	0.0
3月末	10,533	△0.1	△0.1	99.8	0.0
4月末	9,967	△5.5	△5.5	99.8	0.0
5月末	10,502	△0.4	△0.4	100.0	0.0
(期末)2025年6月20日	10,580	0.3	0.3	99.2	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2024年12月21日～2025年6月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 7,324	千円 10,640	千口 32,126	千円 48,140

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 —	千円 —

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2024年12月21日～2025年6月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2025年6月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	比率
千口 529,445	千口 504,643	千円 762,011		% 99.2
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし				
合計	529,445	504,643	762,011	99.2

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10	

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は2,023,171千口です。

投資信託財産の構成

2025年6月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	762,011	96.8
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	25,027	3.2
投資信託財産総額	787,049	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年6月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	787,049,001円
コール・ローン等	25,027,016
シュローダー・グローバルCBファンド(少人数私募) 為替ヘッジなし(評価額)	762,011,964
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	10,021
(B) 負債	19,205,916
未払収益分配金	14,794,845
未払信託報酬	4,368,123
その他の未払費用	42,948
(C) 純資産総額(A-B)	767,843,085
元本	739,742,260
次期繰越損益金	28,100,825
(D) 受益権総口数	739,742,260口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,380円

(注) 期首元本額 756,050,672円
 期中追加設定元本額 14,065,519円
 期中一部解約元本額 30,373,931円

損益の状況

当期 (2024年12月21日～2025年6月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取利息	8,441円 8,441
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	7,007,024 7,351,645 △ 344,621
(C) 信託報酬等	△ 4,411,071
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,604,394
(E) 前期繰越損益金 (分配準備積立金)	10,647,195 (10,647,195)
(F) 追加信託差損益金* (配当等相当額) (売買損益相当額)	29,644,081 (24,358,527) (5,285,554)
(G) 合計(D+E+F)	42,895,670
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G+H)	△14,794,845 28,100,825
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	28,100,825 (24,358,527) (3,742,298)

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,148円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,601,246円
(c) 信託約款に定める収益調整金	29,644,081円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	10,647,195円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	42,895,670円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	579.87円
(g) 分配金	14,794,845円
(h) 分配金 (1万口当たり)	200円

<課税上の取り扱いについて>

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 受益者は普通分配金に対し課税されます。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

お知らせ

■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものととらえています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めています。

(2025年4月1日)

■各ファンドの約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

各ファンドの概要

年2回決算型・為替ヘッジあり	年2回決算型・為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信託期間	2019年6月28日～2029年5月10日
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。
主要運用対象	<p>ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド 「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」</p> <p>シユローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし シユローダー・グローバルCBマザーファンド</p> <p>日本を含む世界のCB（転換社債）</p> <p>ニッセイマネーマーケットマザーファンド 円建ての短期公社債および短期金融商品</p>
運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないこともあります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）				
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで				
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。				
主要投資対象	<table border="1"><tr><td>当ファンド</td><td>・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。</td></tr><tr><td>シュローダー・グローバルCBマザーファンド</td><td>・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。</td></tr></table>	当ファンド	・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
当ファンド	・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。				
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。				
運用方法および組入制限	<table border="1"><tr><td>当ファンド</td><td><ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。また通貨によっては、主として米ドルを用いた代替ヘッジを行うことがあります。</td></tr><tr><td>シュローダー・グローバルCBマザーファンド</td><td><ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</td></tr></table>	当ファンド	<ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。また通貨によっては、主として米ドルを用いた代替ヘッジを行うことがあります。	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。
当ファンド	<ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。また通貨によっては、主として米ドルを用いた代替ヘッジを行うことがあります。				
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。				
分配方針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。 なお、収益分配を行わない場合があります。				

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館21階

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・ 投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・ 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり

第6期 運用報告書(全体版)

(決算日 2025年5月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり」は、2025年5月12日に第6期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 (分配額)	基 準 価 額				新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純 資 産 額
		税 分	込 み 金	期 謄	中 落 率		
2期(2021年5月10日)	円 12,034		円 0		% 20.6	% 93.9	百万円 3,788
3期(2022年5月10日)	10,027		0		△16.7	99.2	1,890
4期(2023年5月10日)	9,644		0		△ 3.8	99.3	1,645
5期(2024年5月10日)	9,596		0		△ 0.5	101.4	1,235
6期(2025年5月12日)	10,002		0		4.2	99.1	1,070

(注) 基準価額、税込み分配額は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価	基 準 価 額		新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	
		騰	落	率	
(期 首) 2024年5月10日	円 9,596			% —	% 101.4
5月末	9,518			△0.8	99.3
6月末	9,567			△0.3	101.9
7月末	9,546			△0.5	93.2
8月末	9,570			△0.3	95.7
9月末	9,853			2.7	96.0
10月末	9,841			2.6	102.1
11月末	10,025			4.5	96.4
12月末	9,853			2.7	99.8
2025年1月末	10,012			4.3	98.1
2月末	10,008			4.3	98.4
3月末	9,858			2.7	98.7
4月末	9,784			2.0	99.9
(期 末) 2025年5月12日	10,002			4.2	99.1

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

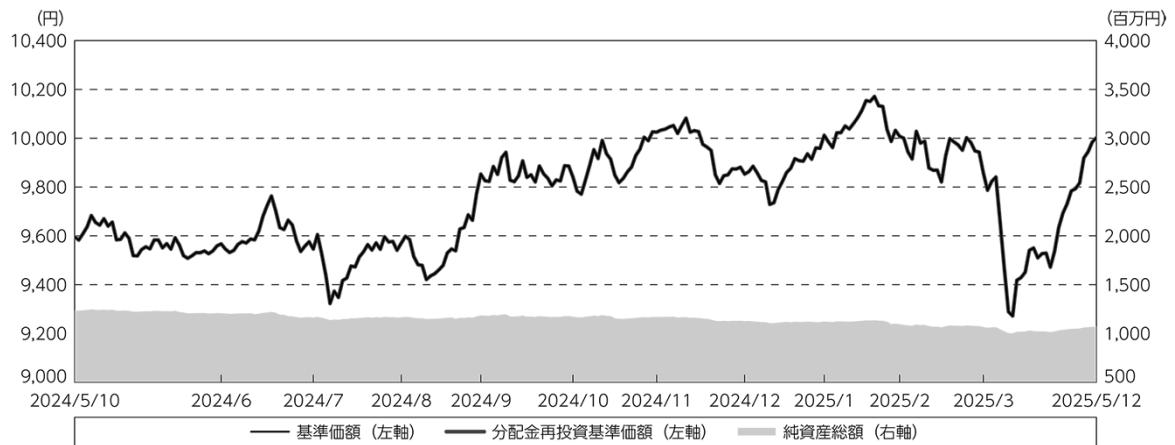
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2024年5月11日～2025年5月12日)

期中の基準価額等の推移



期 首：9,596円

期 末：10,002円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 4.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2024年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首9,596円でスタートした基準価額は、10,002円（分配後）で期末を迎え、期首比4.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面も見られましたが、期を通してはCBの特性である上昇局面での追随力、下落局面での下値抵抗力を発揮し、上昇となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や政治的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2024年半ばには米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ観測が高まり、米国景気のソフトランディング期待が株価を押し上げました。一方、日銀の追加利上げや米国経済指標の悪化、円高進行などにより、一時的に下落する場面も見られました。9月にはF R Bが0.5%の利下げを実施し、市場は再び上昇しました。11月の米国大統領選挙ではトランプ氏の勝利が好感され、株価は一段高となりましたが、12月にはインフレ懸念が再燃し調整局面に入りました。2025年に入ると、中国企業による生成AI（人工知能）関連の発表などで不安定な動きが見られましたが、トランプ氏の大統領就任で一時上昇しました。しかし2月以降、移民政策や追加関税の影響で再び軟調となりました。3月以降は景気後退懸念と政策期待が交錯しながらも、4月には関税一時停止の報道を受けて市場は持ち直しました。このような環境下、CB市場においては、エネルギー、生活必需品セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、一般消費財・サービスセクターが堅調となり上昇し、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS & P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2024年5月11日～ 2025年5月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	868

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

2024年の金融市場は、金利の変動や地政学的リスクなどの影響により、投資家にとって不安定な状況が継続しましたが、CBは年初来、底堅い動きを見せています。現在、政策の不確実性が高まる中で、米国の経済成長率は低下し、インフレ率が上昇する可能性が高いと考えられます。こうした状況において、バリュエーションの観点から見ると、CBおよび原株の両面でグローバルの市場が魅力的と考えています。これは、米国一強だった近年の傾向が変わりつつあることを示していると言えます。実際、米国市場は長年「米国例外主義」という考え方のもと、他国よりも高く評価されてきました。しかし、今後はその優位性が揺らぎ、「例外」ではなく「一つの地域」として見なされるようになるかもしれません。トランプ大統領の米国第一主義の声が、結果的に欧州諸国の結束を強め、経済や軍事で自立を進める動きを加速させました。これにより、欧州が再び「強大な地域」として台頭する可能性もあると考えます。

このような環境下、CBの魅力は続いている。償還や満期においても、引き続き需要が高く、借り換えを通じて安定的に対応ができます。さらに、アジアや日本市場についても、明確なカタリスト（転機や変化のきっかけとなる要因）が存在すると考えています。政策の転換、新しい成長分野への投資、企業改革の進展などが挙げられます。これらは市場の活性化につながり、CBの価格にも好影響を与える可能性があります。

CBは、価格が企業の成長や市場の回復を織り込んでいない場合でも、将来的な回復を見据えて保有する投資家に対し利益をもたらす可能性が高いと考えます。このようなことを踏まえ、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年5月11日～2025年5月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 52	% 0.536	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(50)	(0.509)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
(販売会社)	(0)	(0.001)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
(受託会社)	(3)	(0.027)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	8	0.085	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.037)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.015)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(2)	(0.019)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
(その他の)	(1)	(0.014)	・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	60	0.621	
期中の平均基準価額は、9,786円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年5月11日～2025年5月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
千円	千円	千円	千円	千円
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	115,173	167,087	259,227	394,450

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月11日～2025年5月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年5月12日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
千円	千円	千円	千円
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	862,364	718,310	1,097,937

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年5月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円	%	
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	1,097,937	100.0
投資信託財産総額	1,097,937	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルC B マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,561,795千円)の投資信託財産総額(2,966,525千円)に対する比率は86.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.96円、1ユーロ=163.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年5月12日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	2,011,933,974
シュローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	1,097,937,973
未収入金	913,996,001
(B) 負債	941,169,395
未払金	938,043,983
未払信託報酬	2,937,801
その他未払費用	187,611
(C) 純資産総額(A-B)	1,070,764,579
元本	1,070,517,909
次期繰越損益金	246,670
(D) 受益権総口数	1,070,517,909口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,002円

[元本増減]

期首元本額	1,287,242,309円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	216,724,400円

○損益の状況（2024年5月11日～2025年5月12日）

項目	当期末
	円
(A) 有価証券売買損益	50,141,941
売買益	287,942,900
売買損	△237,800,959
(B) 信託報酬等	△ 6,674,691
(C) 当期損益金(A+B)	43,467,250
(D) 前期繰越損益金	△180,022,343
(E) 追加信託差損益金	136,801,763
(配当等相当額)	(6,945,712)
(売買損益相当額)	(129,856,051)
(F) 計(C+D+E)	246,670
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	246,670
追加信託差損益金	136,801,763
(配当等相当額)	(6,945,712)
(売買損益相当額)	(129,856,051)
分配準備積立金	85,991,249
繰越損益金	△222,546,342

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,994,471円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,945,712円)および分配準備積立金(76,996,778円)より分配対象収益は92,936,961円(10,000口当たり868円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<お知らせ>

マザーファンドの運用委託先をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGからシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドへ変更するため、約款に所要の変更を行いました。
(2025年5月1日より適用)

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第6期〉

【計算期間 2024年5月11日から2025年5月12日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	<ul style="list-style-type: none">・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 総 資 産 額
		中 率	組 入 比 率		
2期(2021年5月10日)	円 12,585	% 26.0	% 93.4	百万円 7,381	
3期(2022年5月10日)	11,995	△ 4.7	97.0		4,083
4期(2023年5月10日)	12,534	4.5	98.3		3,785
5期(2024年5月10日)	14,770	17.8	98.3		3,305
6期(2025年5月12日)	15,285	3.5	96.6		2,937

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	%
		騰	落		
(期 首) 2024年5月10日	円 14,770		%		% 98.3
5月末	14,790		0.1		98.1
6月末	15,236		3.2		99.0
7月末	14,564		△1.4		97.5
8月末	14,075		△4.7		96.5
9月末	14,389		△2.6		95.3
10月末	15,324		3.8		99.1
11月末	15,327		3.8		98.0
12月末	15,760		6.7		97.1
2025年1月末	15,723		6.5		99.4
2月末	15,340		3.9		99.5
3月末	15,236		3.2		97.7
4月末	14,665		△0.7		99.3
(期 末) 2025年5月12日	15,285		3.5		96.6

(注) 基準価額は1万口当たり。

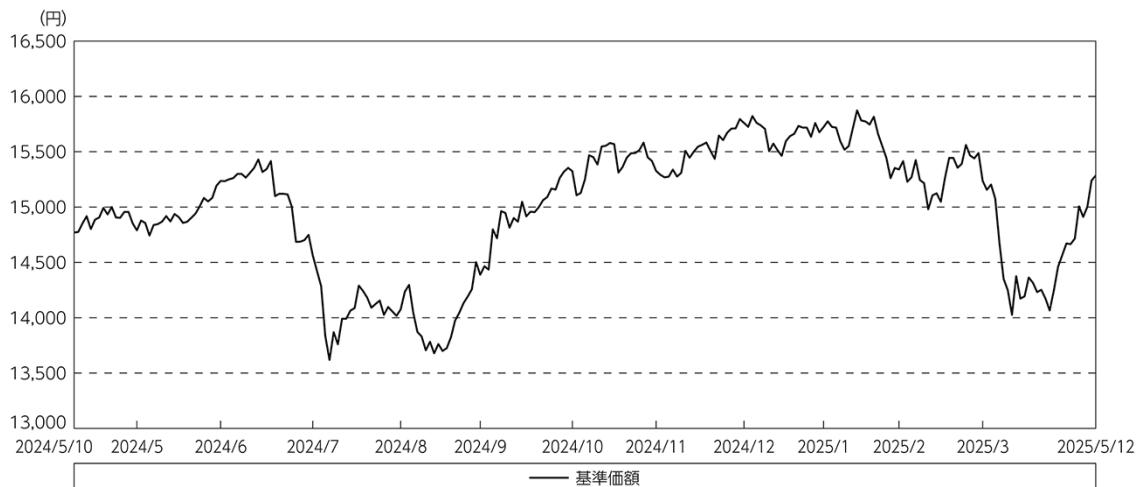
(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2024年5月11日～2025年5月12日)

期中の基準価額等の推移



（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首14,770円でスタートした基準価額は、15,285円で期末を迎え、期首比3.5%の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面も見られましたが、期を通してはCBの特性である上昇局面での追随力、下落局面での下値抵抗力を発揮し、上昇となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や政治的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2024年半ばには米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ観測が高まり、米国景気のソフトランディング期待が株価を押し上げました。一方、日銀の追加利上げや米国経済指標の悪化、円高進行などにより、一時的に下落する場面も見られました。9月にはF R Bが0.5%の利下げを実施し、市場は再び上昇しました。11月の米国大統領選挙ではトランプ氏の勝利が好感され、株価は一段高となりましたが、12月にはインフレ懸念が再燃し調整局面に入りました。2025年に入ると、中国企業による生成AI（人工知能）関連の発表などで不安定な動きが見られましたが、トランプ氏の大統領就任で一時上昇しました。しかし2月以降、移民政策や追加関税の影響で再び軟調となりました。3月以降は景気後退懸念と政策期待が交錯しながらも、4月には関税一時停止の報道を受けて市場は持ち直しました。このような環境下、CB市場においては、エネルギー、生活必需品セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、一般消費財・サービスセクターが堅調となり上昇し、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

(格付はS&P、フィッチ・レイティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け(平均格付)については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

2024年の金融市場は、金利の変動や地政学的リスクなどの影響により、投資家にとって不安定な状況が継続しましたが、CBは年初来、底堅い動きを見せています。現在、政策の不確実性が高まる中で、米国の経済成長率は低下し、インフレ率が上昇する可能性が高いと考えられます。こうした状況において、バリュエーションの観点から見ると、CBおよび原株の両面でグローバルの市場が魅力的と考えています。これは、米国一強だった近年の傾向が変わりつつあることを示していると言えます。実際、米国市場は長年「米国例外主義」という考え方のもと、他国よりも高く評価されてきました。しかし、今後はその優位性が揺らぎ、「例外」ではなく「一つの地域」として見なされるようになるかもしれません。トランプ大統領の米国第一主義の声が、結果的に欧州諸国の結束を強め、経済や軍事で自立を進める動きを加速させました。これにより、欧州が再び「強大な地域」として台頭する可能性もあると考えます。

このような環境下、CBの魅力は続いている。償還や満期においても、引き続き需要が高く、借り換えを通じて安定的に対応ができます。さらに、アジアや日本市場についても、明確なカタリスト(転機や変化のきっかけとなる要因)が存在すると考えています。政策の転換、新しい成長分野への投資、企業改革の進展などが挙げられます。これらは市場の活性化につながり、CBの価格にも好影響を与える可能性があります。

CBは、価格が企業の成長や市場の回復を織り込んでいない場合でも、将来的な回復を見据えて保有する投資家に対し利益をもたらす可能性が高いと考えます。このようなことを踏まえ、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年5月11日～2025年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.039	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I :Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
(保 管 費 用)	(6)	(0.037)	
(そ の 他)	(0)	(0.001)	
合 計	6	0.039	
期中の平均基準価額は、15,035円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年5月11日～2025年5月12日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
国内		千円	千円	千円	千円
外 国	アメリカ	110,000	114,796	250,000	265,106
	ヨーロ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
	ドイツ	11,379	11,997	10,936	11,843
	イタリア	(100)	(100)	(375)	(376)
	フランス	372	405	659	739
	オランダ	300	305	100	94
	スペイン	200	247	400	461
	オーストリア	—	—	100	94
	ルクセンブルク	—	—	100	93
	その他	300	300	600	604
香港	香港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル
		—	—	4,000	4,990
シンガポール	シンガポール	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル
		250	310	500	665

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル	千米ドル
			100	— (100)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分です。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月11日～2025年5月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年5月12日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当期額	期末	
		千円	千円
CYBERAGENT INC 0% 29/11/16	10,000		10,850
FERROTEC HOLDINGS 0% 28/06/23	20,000		20,850
TOKYU CORP 0% 28/09/29	10,000		10,382
TOKYU CORP 0% 30/09/30	10,000		10,592
DAIFUKU CO 0% 30/09/13	20,000		26,000
TAIYO YUDEN CO LTD 0% 30/10/18	10,000		9,737
ANA HOLDINGS INC 0% 31/12/10	30,000		33,045
SOSEI GROUP COR 0.25% 28/12/14	10,000		9,453
KOBE STEEL LTD 0% 30/12/13	20,000		20,537
DAIWA HOUSE INDUST 0% 29/03/30	20,000		21,570
TAKASHIMAYA CO LTD 0% 28/12/06	10,000		11,731
KANSAI PAINT CO 0% 31/03/07	30,000		30,918
IBIDEN CO LTD 0% 31/03/14	20,000		20,110
INFRONEER HOLDINGS 0% 29/03/30	10,000		9,950
ROHM CO LTD 0% 31/04/24	20,000		18,625
RESONAC HOLDINGS C 0% 28/12/29	10,000		10,062
DAIFUKU CO LTD 0% 28/09/14	10,000		12,637
SBI HOLDINGS INC 0% 31/07/25	20,000		21,895
TORIDOLL HOLDINGS 0% 31/06/20	10,000		11,407
AICA KOGYO CO LTD 0% 27/04/22	10,000		11,150
KASUMIGASEKI CAPIT 0% 29/11/05	20,000		19,275
ROHTO PHARMACEUTIC 0% 32/03/15	10,000		11,162
KYORITSU MAINTENANCE 0% 26/01/29	10,000		13,760
合計	額面・金額	350,000	375,705
	銘柄数 <比率>	23	<12.8%>

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面金額	当期末	
		評価額	外貨建金額
		邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル
BENTLEY SYS 0.125% CB	50	49	7,210
SPOTIFY USA INC 0% CB	180	240	35,074
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	159	184	26,967
HALOZYME THERAP 0.25% CB	50	54	7,950
TYLER TECH 0.25% CB	100	121	17,661
LI AUTO INC 0.25% CB	100	118	17,358
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	100	116	17,033
ON SEMICONDUCTOR 0% CB	50	54	7,888
SEA LTD 2.375% CB	100	157	22,915
MIDDLEBY CORP 1.0% CB	50	55	8,125
LENOVO GROUP 2.5% CB	300	378	55,315
CLOUDFLARE INC 0% CB	100	104	15,259
NUTANIX INC 0.25% CB	100	141	20,602
COINBASE GLOBAL 0.5% CB	75	75	10,952
SHIFT4 PAYMENTS 0.5% CB	50	51	7,542
ORMAT TECH 2.5% CB	100	104	15,282
CYTOKINETICS 3.5% CB	50	52	7,695
HALOZYME THER 1.0% CB	125	164	24,019
ALNYLAM PHARMA 1% CB	133	149	21,878
NOG INC 3.625% CB	175	174	25,480
TAIWAN CEMENT CORP 0% CB	200	234	34,284
MERIT MEDICAL 3.0% CB	62	79	11,642
LANTHEUS HLD 2.625% CB	50	64	9,376
ZTO EXPRESS KY 1.5% CB	50	49	7,222
SOUTHERN CO 3.875% CB	175	193	28,264
RIVIAN AUTO 4.625% CB	225	237	34,708
TRANSMEDICS 1.5% CB	50	71	10,419
MKS INSTRUMENT 1.25% CB	285	256	37,376
JD.COM INC 0.25% CB	290	310	45,323
MP MATERIALS CO 3.0% CB	100	130	19,025
SNAP INC 0.5% CB	175	145	21,251
XERO INVESTME 1.625% CB	200	241	35,176
TRIP COM GROUP 0.75% CB	153	176	25,804
HAEMONETICS CO 2.5% CB	100	98	14,347
IONIS PHARMA 1.75% CB	51	50	7,420
LUMENTUM HLDGS 1.5% CB	122	147	21,484
GOLD POLE CAPIT 1.0% CB	200	218	31,950
WELLTOWER OP 3.125% CB	130	172	25,198
PING AN INSUR 0.875% CB	400	484	70,746

銘 柄	額 面 金 額	当 期 末	
		評 価 額	外貨建金額
		邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル
WAYFAIR INC 3.25% CB	50	48	7,024
CENTERPOINT EN 4.25% CB	50	55	8,075
GIGABYTE TECHNOLO 0% CB	200	223	32,683
TETRA TECH INC 2.25% CB	50	56	8,258
AKAMAI TECHNO 1.125% CB	50	47	6,962
VARONIS SYSTEMS 1% CB	87	85	12,452
QUANTA COMPUTER 0% CB	200	225	32,923
ALARM.COM HOLD 2.25% CB	75	73	10,667
LIVE NATION E 3.125% CB	175	251	36,718
BOX INC 1.5% CB	81	79	11,645
SNOWFLAKE INC CON 0% CB	196	257	37,644
SNOWFLAKE INC CON 0% CB	150	194	28,407
SEAGATE HDD CYM 3.5% CB	125	163	23,825
ITRON INC 1.375% CB	50	53	7,872
WUXI APPTEC HONG 0% CB	200	200	29,264
GUIDEWIRE SOFT 1.25% CB	97	109	16,019
HON HAI PRECISION 0% CB	200	213	31,091
SYNAPTICS INCO 0.75% CB	122	112	16,462
ASTRONICS CORP 5.5% CB	100	149	21,754
UBER TECHNOLO 0.875% CB	300	399	58,281
BILL HOLDINGS INC 0% CB	227	193	28,212
PG&E CORPORATI 4.25% CB	150	157	22,947
LIVE NATION E 2.875% CB	118	124	18,170
EXACT SCIENCES CO 2% CB	50	50	7,392
DATADOG INC 0% CB	187	172	25,247
NUTANIX INC CON 0.5% CB	31	35	5,132
REPLIGEN CORP 1.0% CB	130	128	18,813
AFFIRM HOLDING 0.75% CB	156	140	20,504
MINISO GROUP HO 0.5% CB	200	187	27,382
MARATHON DIGITAL 0% CB	100	89	13,009
RIOT PLATFORMS 0.75% CB	75	65	9,551
H WORLD GROUP LTD 3% CB	100	112	16,420
GOLDMAN SACHS 0% CB	100	105	15,435
LYFT INC 0.625% CB	100	111	16,201
NEXTERA ENERGY 3.0% CB	143	164	23,940
PARSONS CORP 2.625% CB	150	156	22,780
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	103	15,115
BAIDU INC 0% CB	200	196	28,637
QIAGEN NV 2.5% CB	200	203	29,721
IRHYTHM TECHNOL 1.5% CB	113	136	19,907
GLOBAL PAYMENTS 1.5% CB	297	268	39,231
INTEGER HLDGS 1.875% CB	138	142	20,837
GUARDANT HEALT 1.25% CB	100	105	15,333

銘柄		当期末		
		額面金額	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
M/A-COM TECH 0% CB		50	49	7,250
MORGAN STANLEY FI 0% CB		100	95	13,934
COINBASE GLOBAL 0.25% CB		75	74	10,914
GOLDMAN SACHS INT 0% CB		100	98	14,347
BRIDGEBIO 1.75% CB		50	52	7,593
UNITY SOFTWARE 0% CB		50	47	6,892
FLUOR CORP 1.125% CB		50	53	7,777
MICROSTRATEGY 0% CB		216	255	37,359
AMERICAN WTR 3.625% CB		50	51	7,525
WAYFAIR INC 3.5% CB		100	105	15,340
NCL CORP 0.875% CB		100	100	14,632
CORE SCIENTIFIC 3% CB		75	89	13,062
SOUTHERN CO 4.5% CB		150	165	24,123
STMICROELECTRO 0% CB		200	189	27,607
AKAMAI TECHNO 0.375% CB		100	97	14,293
INSULET CORP 0.375% CB		110	158	23,109
ASAHI REFINING 0% CB		100	94	13,756
小計	額面金額	12,564	13,844	2,020,724
	銘柄数	99	—	<68.8%>
(ヨーロッパ・ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
MTU AERO 0.05% CB		100	107	17,668
RAG-STIFTUNG 2.25% CB		100	118	19,489
DELIVERY HERO 3.25% CB		100	98	16,071
DEUTSCHE BETEIL 5.5% CB		100	108	17,785
TUI AG 1.95% CB		100	110	18,115
RAG-STIFTUNG 0% CB		200	205	33,715
小計	額面金額	700	749	122,845
	銘柄数	6	—	<4.2%>
(ヨーロッパ・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
ENI SPA 2.95% CB		300	306	50,307
PIRELLI & C SPA 0% CB		100	105	17,346
小計	額面金額	400	412	67,653
	銘柄数	2	—	<2.3%>
(ヨーロッパ・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円
SPIE SA 2.0% CB		100	140	22,974
SCHNEIDER ELEC 1.97% CB		100	124	20,403
VINCI 0.7% CB		100	108	17,733
ACCOR SA CONV 0.7% CB		72	83	13,625
小計	額面金額	372	455	74,736
	銘柄数	4	—	<2.5%>

シュローダー・グローバルC B マザーファンド

銘柄				当期末		
				額面金額	評価額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・オランダ)				千ユーロ	千ユーロ	千円
MERRILL LYNCH BV 0% CB				100	99	16,291
LEG PROPERTIES 1.0% CB				200	205	33,638
MERRILL LYNCH 0.1% CB				100	99	16,341
小計	額面	・	金額	400	404	66,271
	銘柄	数	<比率>	3	—	<2.3%>
(ユーロ・・・スペイン)				千ユーロ	千ユーロ	千円
INTL CON AIR 1.125% CB				100	121	19,976
IBERDROLA FINAN 0.8% CB				100	121	19,950
CELLNEX TELECOM 0.5% CB				100	106	17,538
小計	額面	・	金額	300	350	57,464
	銘柄	数	<比率>	3	—	<2.0%>
(ユーロ・・・その他)				千ユーロ	千ユーロ	千円
JPMORGAN CHASE 0.5% CB				100	99	16,385
ANLLIAN CAPITAL 2.0% CB				200	218	35,867
小計	額面	・	金額	300	318	52,253
	銘柄	数	<比率>	2	—	<1.8%>
ユーロ計	額面	・	金額	2,472	2,691	441,225
	銘柄	数	<比率>	20	—	<15.0%>
合計	額面	・	金額	—	—	2,461,949
	銘柄	数	<比率>	119	—	<83.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 2,837,654	% 95.7
コール・ローン等、その他	128,871	4.3
投資信託財産総額	2,966,525	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,561,795千円)の投資信託財産総額(2,966,525千円)に対する比率は86.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=145.96円、1ユーロ=163.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 3,008,364,500
コール・ローン等	120,041,230
公社債(評価額)	2,837,654,573
未収入金	41,986,099
未収利息	7,633,296
前払費用	1,049,302
(B) 負債	70,799,074
未払金	70,799,074
(C) 純資産総額(A-B)	2,937,565,426
元本	1,921,807,663
次期繰越損益金	1,015,757,763
(D) 受益権総口数	1,921,807,663口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,285円

[元本増減]

期首元本額	2,238,287,239円
期中追加設定元本額	148,586,612円
期中一部解約元本額	465,066,188円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルC B ファンド(少人数私募)	為替ヘッジあり 718,310,745円
	1,203,496,918円

○損益の状況 (2024年5月11日～2025年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 29,755,389
受取利息	29,747,319
その他収益金	8,088
支払利息	△ 18
(B) 有価証券売買損益	89,953,644
売買益	396,034,011
売買損	△ 306,080,367
(C) 保管費用等	△ 1,154,027
(D) 当期損益金(A+B+C)	118,555,006
(E) 前期繰越損益金	1,067,601,959
(F) 追加信託差損益金	68,901,248
(G) 解約差損益金	△ 239,300,450
(H) 計(D+E+F+G)	1,015,757,763
次期繰越損益金(H)	1,015,757,763

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

マザーファンドの運用委託先をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGからシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドへ変更するため、約款に所要の変更を行いました。
(2025年5月1日より適用)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）				
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで				
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。				
主要投資対象	<table border="1"><tr><td>当ファンド</td><td>・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。</td></tr><tr><td>シュローダー・グローバルCBマザーファンド</td><td>・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。</td></tr></table>	当ファンド	・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
当ファンド	・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。				
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。				
運用方法および組入制限	<table border="1"><tr><td>当ファンド</td><td><ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</td></tr><tr><td>シュローダー・グローバルCBマザーファンド</td><td><ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</td></tr></table>	当ファンド	<ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。
当ファンド	<ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。				
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。				
分配方針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、収益分配を行わない場合があります。				

シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし

第6期 運用報告書（全体版）

（決算日 2025年5月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし」は、2025年5月12日に第6期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館21階

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・ 投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・ 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 (分配額)	基 準 価 額				新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 謄 落	中 率	
2期(2021年5月10日)	円 12,456			円 0		% 25.3	% 93.6
3期(2022年5月10日)	11,806			0		△ 5.2	97.3
4期(2023年5月10日)	12,268			0		3.9	98.5
5期(2024年5月10日)	14,378			0		17.2	98.6
6期(2025年5月12日)	14,798			0		2.9	96.9

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価	基 準 価 額		新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	
		騰	落	率	
(期 首) 2024年5月10日	円 14,378			% —	% 98.6
5月末	14,393			0.1	98.1
6月末	14,821			3.1	99.1
7月末	14,159			△1.5	97.7
8月末	13,677			△4.9	96.7
9月末	13,976			△2.8	95.5
10月末	14,880			3.5	99.4
11月末	14,876			3.5	98.1
12月末	15,289			6.3	97.2
2025年1月末	15,246			6.0	99.5
2月末	14,868			3.4	99.7
3月末	14,759			2.6	97.9
4月末	14,199			△1.2	99.6
(期 末) 2025年5月12日	14,798			2.9	96.9

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

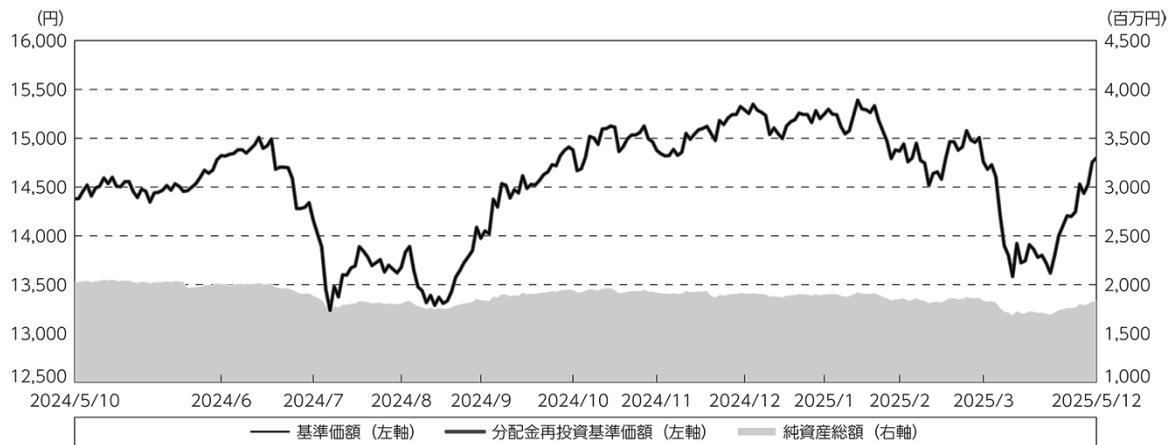
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2024年5月11日～2025年5月12日)

期中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首14,378円でスタートした基準価額は、14,798円（分配後）で期末を迎え、期首比2.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面も見られましたが、期を通してはCBの特性である上昇局面での追随力、下落局面での下値抵抗力を発揮し、上昇となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や政治的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2024年半ばには米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ観測が高まり、米国景気のソフトランディング期待が株価を押し上げました。一方、日銀の追加利上げや米国経済指標の悪化、円高進行などにより、一時的に下落する場面も見られました。9月にはF R Bが0.5%の利下げを実施し、市場は再び上昇しました。11月の米国大統領選挙ではトランプ氏の勝利が好感され、株価は一段高となりましたが、12月にはインフレ懸念が再燃し調整局面に入りました。2025年に入ると、中国企業による生成AI（人工知能）関連の発表などで不安定な動きが見られましたが、トランプ氏の大統領就任で一時上昇しました。しかし2月以降、移民政策や追加関税の影響で再び軟調となりました。3月以降は景気後退懸念と政策期待が交錯しながらも、4月には関税一時停止の報道を受けて市場は持ち直しました。このような環境下、CB市場においては、エネルギー、生活必需品セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、一般消費財・サービスセクターが堅調となり上昇し、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS & P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2024年5月11日～ 2025年5月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,797

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

2024年の金融市場は、金利の変動や地政学的リスクなどの影響により、投資家にとって不安定な状況が継続しましたが、CBは年初来、底堅い動きを見せています。現在、政策の不確実性が高まる中で、米国の経済成長率は低下し、インフレ率が上昇する可能性が高いと考えられます。こうした状況において、バリュエーションの観点から見ると、CBおよび原株の両面でグローバルの市場が魅力的と考えています。これは、米国一強だった近年の傾向が変わりつつあることを示していると言えます。実際、米国市場は長年「米国例外主義」という考え方のもと、他国よりも高く評価されてきました。しかし、今後はその優位性が揺らぎ、「例外」ではなく「一つの地域」として見なされるようになるかもしれません。トランプ大統領の米国第一主義の声が、結果的に欧州諸国の結束を強め、経済や軍事で自立を進める動きを加速させました。これにより、欧州が再び「強大な地域」として台頭する可能性もあると考えます。

このような環境下、CBの魅力は続いている。償還や満期においても、引き続き需要が高く、借り換えを通じて安定的に対応ができます。さらに、アジアや日本市場についても、明確なカタリスト（転機や変化のきっかけとなる要因）が存在すると考えています。政策の転換、新しい成長分野への投資、企業改革の進展などが挙げられます。これらは市場の活性化につながり、CBの価格にも好影響を与える可能性があります。

CBは、価格が企業の成長や市場の回復を織り込んでいない場合でも、将来的な回復を見据えて保有する投資家に対し利益をもたらす可能性が高いと考えます。このようなことを踏まえ、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年5月11日～2025年5月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 78	% 0.536	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(74)	(0.509)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
（販売会社）	(0)	(0.001)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（受託会社）	(4)	(0.027)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	10	0.065	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.037)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.012)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(2)	(0.014)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他の）	(0)	(0.001)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI : Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	88	0.601	
期中の平均基準価額は、14,595円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年5月11日～2025年5月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
千円	千円	千円	千円	千円
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	33,413	50,400	205,838	309,915

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月11日～2025年5月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年5月12日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
千円	千円	千円	千円
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	1,375,922	1,203,496	1,839,545

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年5月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円	%	
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	1,839,545	100.0
投資信託財産総額	1,839,545	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルC B マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,561,795千円)の投資信託財産総額(2,966,525千円)に対する比率は86.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.96円、1ユーロ=163.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年5月12日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	1,839,545,039
シェローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	1,839,545,039
(B) 負債	5,199,508
未払信託報酬	4,950,290
その他未払費用	249,218
(C) 純資産総額(A-B)	1,834,345,531
元本	1,239,593,947円
次期繰越損益金	594,751,584
(D) 受益権総口数	1,239,593,947口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,798円

[元本増減]

期首元本額	1,409,408,871円
期中追加設定元本額	34,405,689円
期中一部解約元本額	204,220,613円

○損益の状況（2024年5月11日～2025年5月12日）

項目	当期末
	円
(A) 有価証券売買損益	61,770,243
売買益	70,247,004
売買損	△ 8,476,761
(B) 信託報酬等	△ 10,636,770
(C) 当期損益金(A+B)	51,133,473
(D) 前期繰越損益金	345,045,721
(E) 追加信託差損益金	198,572,390
(配当等相当額)	(31,139,336)
(売買損益相当額)	(167,433,054)
(F) 計(C+D+E)	594,751,584
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	594,751,584
追加信託差損益金	198,572,390
(配当等相当額)	(31,182,502)
(売買損益相当額)	(167,389,888)
分配準備積立金	396,179,194

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,784,178円)、費用控除後の有価証券等損益額(36,349,295円)、信託約款に規定する収益調整金(198,572,390円)および分配準備積立金(345,045,721円)より分配対象収益は594,751,584円(10,000口当たり4,797円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<お知らせ>

マザーファンドの運用委託先をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGからシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドへ変更するため、約款に所要の変更を行いました。
(2025年5月1日より適用)

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第6期〉

【計算期間 2024年5月11日から2025年5月12日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 総 資 産 額
		中 率	組 入 比 率		
2期(2021年5月10日)	円 12,585	% 26.0	% 93.4	百万円 7,381	
3期(2022年5月10日)	11,995	△ 4.7	97.0		4,083
4期(2023年5月10日)	12,534	4.5	98.3		3,785
5期(2024年5月10日)	14,770	17.8	98.3		3,305
6期(2025年5月12日)	15,285	3.5	96.6		2,937

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率
		騰	落	
(期 首) 2024年5月10日	円 14,770	%	—	% 98.3
5月末	14,790		0.1	98.1
6月末	15,236		3.2	99.0
7月末	14,564		△1.4	97.5
8月末	14,075		△4.7	96.5
9月末	14,389		△2.6	95.3
10月末	15,324		3.8	99.1
11月末	15,327		3.8	98.0
12月末	15,760		6.7	97.1
2025年1月末	15,723		6.5	99.4
2月末	15,340		3.9	99.5
3月末	15,236		3.2	97.7
4月末	14,665		△0.7	99.3
(期 末) 2025年5月12日	15,285		3.5	96.6

(注) 基準価額は1万口当たり。

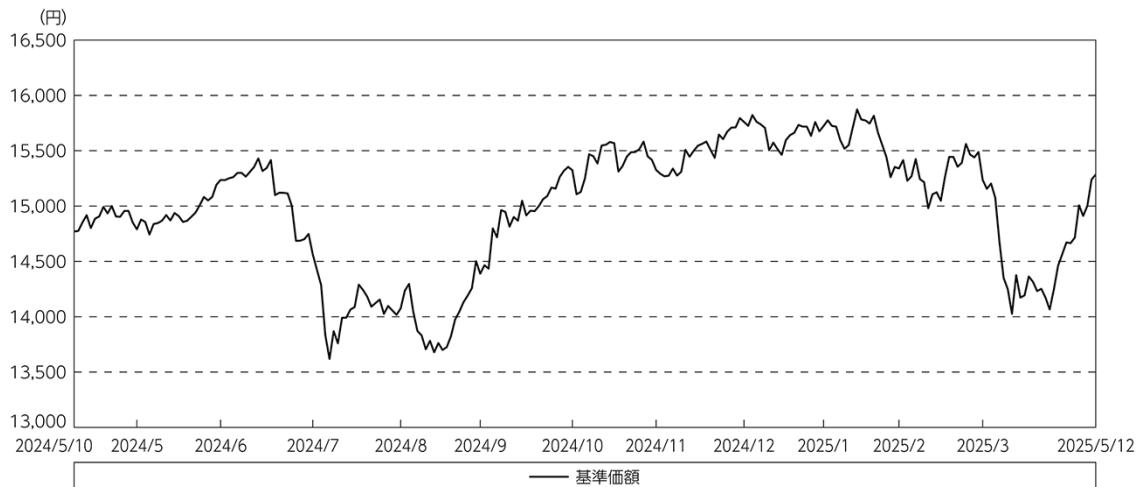
(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2024年5月11日～2025年5月12日)

期中の基準価額等の推移



（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首14,770円でスタートした基準価額は、15,285円で期末を迎え、期首比3.5%の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面も見られましたが、期を通してはCBの特性である上昇局面での追随力、下落局面での下値抵抗力を発揮し、上昇となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や政治的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2024年半ばには米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ観測が高まり、米国景気のソフトランディング期待が株価を押し上げました。一方、日銀の追加利上げや米国経済指標の悪化、円高進行などにより、一時的に下落する場面も見られました。9月にはF R Bが0.5%の利下げを実施し、市場は再び上昇しました。11月の米国大統領選挙ではトランプ氏の勝利が好感され、株価は一段高となりましたが、12月にはインフレ懸念が再燃し調整局面に入りました。2025年に入ると、中国企業による生成AI（人工知能）関連の発表などで不安定な動きが見られましたが、トランプ氏の大統領就任で一時上昇しました。しかし2月以降、移民政策や追加関税の影響で再び軟調となりました。3月以降は景気後退懸念と政策期待が交錯しながらも、4月には関税一時停止の報道を受けて市場は持ち直しました。このような環境下、CB市場においては、エネルギー、生活必需品セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、一般消費財・サービスセクターが堅調となり上昇し、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

(格付はS&P、フィッチ・レイティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け(平均格付)については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

2024年の金融市場は、金利の変動や地政学的リスクなどの影響により、投資家にとって不安定な状況が継続しましたが、CBは年初来、底堅い動きを見せています。現在、政策の不確実性が高まる中で、米国の経済成長率は低下し、インフレ率が上昇する可能性が高いと考えられます。こうした状況において、バリュエーションの観点から見ると、CBおよび原株の両面でグローバルの市場が魅力的と考えています。これは、米国一強だった近年の傾向が変わりつつあることを示していると言えます。実際、米国市場は長年「米国例外主義」という考え方のもと、他国よりも高く評価されてきました。しかし、今後はその優位性が揺らぎ、「例外」ではなく「一つの地域」として見なされるようになるかもしれません。トランプ大統領の米国第一主義の声が、結果的に欧州諸国の結束を強め、経済や軍事で自立を進める動きを加速させました。これにより、欧州が再び「強大な地域」として台頭する可能性もあると考えます。

このような環境下、CBの魅力は続いている。償還や満期においても、引き続き需要が高く、借り換えを通じて安定的に対応ができます。さらに、アジアや日本市場についても、明確なカタリスト(転機や変化のきっかけとなる要因)が存在すると考えています。政策の転換、新しい成長分野への投資、企業改革の進展などが挙げられます。これらは市場の活性化につながり、CBの価格にも好影響を与える可能性があります。

CBは、価格が企業の成長や市場の回復を織り込んでいない場合でも、将来的な回復を見据えて保有する投資家に対し利益をもたらす可能性が高いと考えます。このようなことを踏まえ、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年5月11日～2025年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.039	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I :Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
(保 管 費 用)	(6)	(0.037)	
(そ の 他)	(0)	(0.001)	
合 計	6	0.039	
期中の平均基準価額は、15,035円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年5月11日～2025年5月12日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
国内		千円	千円	千円	千円
外 国	アメリカ	110,000	114,796	250,000	265,106
	ヨーロ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
	ドイツ	11,379	11,997	10,936	11,843
	イタリア	(100)	(100)	(375)	(376)
	フランス	372	405	659	739
	オランダ	300	305	100	94
	スペイン	200	247	400	461
	オーストリア	—	—	100	94
	ルクセンブルク	—	—	100	93
	その他	300	300	600	604
香港	香港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル
		—	—	4,000	4,990
シンガポール	シンガポール	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル
		250	310	500	665

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル	千米ドル
			100	— (100)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分です。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月11日～2025年5月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年5月12日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘 柄	当 期 末			
	額	面	金	額
CYBERAGENT INC 0% 29/11/16			千円	千円
FERROTEC HOLDINGS 0% 28/06/23	10,000			10,850
TOKYU CORP 0% 28/09/29	20,000			20,850
TOKYU CORP 0% 30/09/30	10,000			10,382
DAIFUKU CO 0% 30/09/13	10,000			10,592
DAIFUKU CO 0% 30/09/13	20,000			26,000
TAIYO YUDEN CO LTD 0% 30/10/18	10,000			9,737
ANA HOLDINGS INC 0% 31/12/10	30,000			33,045
SOSEI GROUP COR 0.25% 28/12/14	10,000			9,453
KOBE STEEL LTD 0% 30/12/13	20,000			20,537
DAIWA HOUSE INDUST 0% 29/03/30	20,000			21,570
TAKASHIMAYA CO LTD 0% 28/12/06	10,000			11,731
KANSAI PAINT CO 0% 31/03/07	30,000			30,918
IBIDEN CO LTD 0% 31/03/14	20,000			20,110
INFRONEER HOLDINGS 0% 29/03/30	10,000			9,950
ROHM CO LTD 0% 31/04/24	20,000			18,625
RESONAC HOLDINGS C 0% 28/12/29	10,000			10,062
DAIFUKU CO LTD 0% 28/09/14	10,000			12,637
SBI HOLDINGS INC 0% 31/07/25	20,000			21,895
TORIDOLL HOLDINGS 0% 31/06/20	10,000			11,407
AICA KOGYO CO LTD 0% 27/04/22	10,000			11,150
KASUMIGASEKI CAPIT 0% 29/11/05	20,000			19,275
ROHTO PHARMACEUTIC 0% 32/03/15	10,000			11,162
KYORITSU MAINTENANCE 0% 26/01/29	10,000			13,760
合 計	額	面	・ 金	額
	銘	柄	数 < 比	率 >
			350,000	375,705
			23	<12.8%>

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面金額	当期末		
		評価額		外貨建金額
			邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
BENTLEY SYS 0.125% CB	50	49	7,210	
SPOTIFY USA INC 0% CB	180	240	35,074	
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	159	184	26,967	
HALOZYME THERAP 0.25% CB	50	54	7,950	
TYLER TECH 0.25% CB	100	121	17,661	
LI AUTO INC 0.25% CB	100	118	17,358	
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	100	116	17,033	
ON SEMICONDUCTOR 0% CB	50	54	7,888	
SEA LTD 2.375% CB	100	157	22,915	
MIDDLEBY CORP 1.0% CB	50	55	8,125	
LENOVO GROUP 2.5% CB	300	378	55,315	
CLOUDFLARE INC 0% CB	100	104	15,259	
NUTANIX INC 0.25% CB	100	141	20,602	
COINBASE GLOBAL 0.5% CB	75	75	10,952	
SHIFT4 PAYMENTS 0.5% CB	50	51	7,542	
ORMAT TECH 2.5% CB	100	104	15,282	
CYTOKINETICS 3.5% CB	50	52	7,695	
HALOZYME THER 1.0% CB	125	164	24,019	
ALNYLAM PHARMA 1% CB	133	149	21,878	
NOG INC 3.625% CB	175	174	25,480	
TAIWAN CEMENT CORP 0% CB	200	234	34,284	
MERIT MEDICAL 3.0% CB	62	79	11,642	
LANTHEUS HLD 2.625% CB	50	64	9,376	
ZTO EXPRESS KY 1.5% CB	50	49	7,222	
SOUTHERN CO 3.875% CB	175	193	28,264	
RIVIAN AUTO 4.625% CB	225	237	34,708	
TRANSMEDICS 1.5% CB	50	71	10,419	
MKS INSTRUMENT 1.25% CB	285	256	37,376	
JD.COM INC 0.25% CB	290	310	45,323	
MP MATERIALS CO 3.0% CB	100	130	19,025	
SNAP INC 0.5% CB	175	145	21,251	
XERO INVESTME 1.625% CB	200	241	35,176	
TRIP COM GROUP 0.75% CB	153	176	25,804	
HAEMONETICS CO 2.5% CB	100	98	14,347	
IONIS PHARMA 1.75% CB	51	50	7,420	
LUMENTUM HLDGS 1.5% CB	122	147	21,484	
GOLD POLE CAPIT 1.0% CB	200	218	31,950	
WELLTOWER OP 3.125% CB	130	172	25,198	
PING AN INSUR 0.875% CB	400	484	70,746	

銘 柄	額 面 金 額	当 期 末	
		評 価 額	外貨建金額
		邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル
WAYFAIR INC 3.25% CB	50	48	7,024
CENTERPOINT EN 4.25% CB	50	55	8,075
GIGABYTE TECHNOLO 0% CB	200	223	32,683
TETRA TECH INC 2.25% CB	50	56	8,258
AKAMAI TECHNO 1.125% CB	50	47	6,962
VARONIS SYSTEMS 1% CB	87	85	12,452
QUANTA COMPUTER 0% CB	200	225	32,923
ALARM.COM HOLD 2.25% CB	75	73	10,667
LIVE NATION E 3.125% CB	175	251	36,718
BOX INC 1.5% CB	81	79	11,645
SNOWFLAKE INC CON 0% CB	196	257	37,644
SNOWFLAKE INC CON 0% CB	150	194	28,407
SEAGATE HDD CYM 3.5% CB	125	163	23,825
ITRON INC 1.375% CB	50	53	7,872
WUXI APPTEC HONG 0% CB	200	200	29,264
GUIDEWIRE SOFT 1.25% CB	97	109	16,019
HON HAI PRECISION 0% CB	200	213	31,091
SYNAPTICS INCO 0.75% CB	122	112	16,462
ASTRONICS CORP 5.5% CB	100	149	21,754
UBER TECHNOLO 0.875% CB	300	399	58,281
BILL HOLDINGS INC 0% CB	227	193	28,212
PG&E CORPORATI 4.25% CB	150	157	22,947
LIVE NATION E 2.875% CB	118	124	18,170
EXACT SCIENCES CO 2% CB	50	50	7,392
DATADOG INC 0% CB	187	172	25,247
NUTANIX INC CON 0.5% CB	31	35	5,132
REPLIGEN CORP 1.0% CB	130	128	18,813
AFFIRM HOLDING 0.75% CB	156	140	20,504
MINISO GROUP HO 0.5% CB	200	187	27,382
MARATHON DIGITAL 0% CB	100	89	13,009
RIOT PLATFORMS 0.75% CB	75	65	9,551
H WORLD GROUP LTD 3% CB	100	112	16,420
GOLDMAN SACHS 0% CB	100	105	15,435
LYFT INC 0.625% CB	100	111	16,201
NEXTERA ENERGY 3.0% CB	143	164	23,940
PARSONS CORP 2.625% CB	150	156	22,780
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	103	15,115
BAIDU INC 0% CB	200	196	28,637
QIAGEN NV 2.5% CB	200	203	29,721
IRHYTHM TECHNOL 1.5% CB	113	136	19,907
GLOBAL PAYMENTS 1.5% CB	297	268	39,231
INTEGER HLDGS 1.875% CB	138	142	20,837
GUARDANT HEALT 1.25% CB	100	105	15,333

銘柄	当期末			
	額面金額	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
M/A-COM TECH 0% CB	50	49	7,250	
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	95	13,934	
COINBASE GLOBAL 0.25% CB	75	74	10,914	
GOLDMAN SACHS INT 0% CB	100	98	14,347	
BRIDGEBIO 1.75% CB	50	52	7,593	
UNITY SOFTWARE 0% CB	50	47	6,892	
FLUOR CORP 1.125% CB	50	53	7,777	
MICROSTRATEGY 0% CB	216	255	37,359	
AMERICAN WTR 3.625% CB	50	51	7,525	
WAYFAIR INC 3.5% CB	100	105	15,340	
NCL CORP 0.875% CB	100	100	14,632	
CORE SCIENTIFIC 3% CB	75	89	13,062	
SOUTHERN CO 4.5% CB	150	165	24,123	
STMICROELECTRO 0% CB	200	189	27,607	
AKAMAI TECHNO 0.375% CB	100	97	14,293	
INSULET CORP 0.375% CB	110	158	23,109	
ASAHI REFINING 0% CB	100	94	13,756	
小計	額面金額	12,564	13,844	2,020,724
	銘柄数	99	—	<68.8%>
(ヨーロッパ・ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
MTU AERO 0.05% CB	100	107	17,668	
RAG-STIFTUNG 2.25% CB	100	118	19,489	
DELIVERY HERO 3.25% CB	100	98	16,071	
DEUTSCHE BETEIL 5.5% CB	100	108	17,785	
TUI AG 1.95% CB	100	110	18,115	
RAG-STIFTUNG 0% CB	200	205	33,715	
小計	額面金額	700	749	122,845
	銘柄数	6	—	<4.2%>
(ヨーロッパ・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
ENI SPA 2.95% CB	300	306	50,307	
PIRELLI & C SPA 0% CB	100	105	17,346	
小計	額面金額	400	412	67,653
	銘柄数	2	—	<2.3%>
(ヨーロッパ・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円
SPIE SA 2.0% CB	100	140	22,974	
SCHNEIDER ELEC 1.97% CB	100	124	20,403	
VINCI 0.7% CB	100	108	17,733	
ACCOR SA CONV 0.7% CB	72	83	13,625	
小計	額面金額	372	455	74,736
	銘柄数	4	—	<2.5%>

シュローダー・グローバルC B マザーファンド

銘柄				当期末		
				額面金額	評価額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・オランダ)				千ユーロ	千ユーロ	千円
MERRILL LYNCH BV 0% CB				100	99	16,291
LEG PROPERTIES 1.0% CB				200	205	33,638
MERRILL LYNCH 0.1% CB				100	99	16,341
小計	額面	・	金額	400	404	66,271
	銘柄	数	<比率>	3	—	<2.3%>
(ユーロ・・・スペイン)				千ユーロ	千ユーロ	千円
INTL CON AIR 1.125% CB				100	121	19,976
IBERDROLA FINAN 0.8% CB				100	121	19,950
CELLNEX TELECOM 0.5% CB				100	106	17,538
小計	額面	・	金額	300	350	57,464
	銘柄	数	<比率>	3	—	<2.0%>
(ユーロ・・・その他)				千ユーロ	千ユーロ	千円
JPMORGAN CHASE 0.5% CB				100	99	16,385
ANLLIAN CAPITAL 2.0% CB				200	218	35,867
小計	額面	・	金額	300	318	52,253
	銘柄	数	<比率>	2	—	<1.8%>
ユーロ計	額面	・	金額	2,472	2,691	441,225
	銘柄	数	<比率>	20	—	<15.0%>
合計	額面	・	金額	—	—	2,461,949
	銘柄	数	<比率>	119	—	<83.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 2,837,654	% 95.7
コール・ローン等、その他	128,871	4.3
投資信託財産総額	2,966,525	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,561,795千円)の投資信託財産総額(2,966,525千円)に対する比率は86.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=145.96円、1ユーロ=163.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 3,008,364,500
コール・ローン等	120,041,230
公社債(評価額)	2,837,654,573
未収入金	41,986,099
未収利息	7,633,296
前払費用	1,049,302
(B) 負債	70,799,074
未払金	70,799,074
(C) 純資産総額(A-B)	2,937,565,426
元本	1,921,807,663
次期繰越損益金	1,015,757,763
(D) 受益権総口数	1,921,807,663口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,285円

〔元本増減〕

期首元本額	2,238,287,239円
期中追加設定元本額	148,586,612円
期中一部解約元本額	465,066,188円

〔当マザーファンドの当期末における元本の内訳〕

シュローダー・グローバルC B ファンド(少人数私募)	為替ヘッジあり 718,310,745円
シュローダー・グローバルC B ファンド(少人数私募)	為替ヘッジなし 1,203,496,918円

○損益の状況

(2024年5月11日～2025年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 29,755,389
受取利息	29,747,319
その他収益金	8,088
支払利息	△ 18
(B) 有価証券売買損益	89,953,644
売買益	396,034,011
売買損	△ 306,080,367
(C) 保管費用等	△ 1,154,027
(D) 当期損益金(A+B+C)	118,555,006
(E) 前期繰越損益金	1,067,601,959
(F) 追加信託差損益金	68,901,248
(G) 解約差損益金	△ 239,300,450
(H) 計(D+E+F+G)	1,015,757,763
次期繰越損益金(H)	1,015,757,763

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

マザーファンドの運用委託先をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGからシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドへ変更するため、約款に所要の変更を行いました。
(2025年5月1日より適用)

【受益者の皆様へ】 法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 27 期

(計算期間：2024年10月16日～2025年4月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



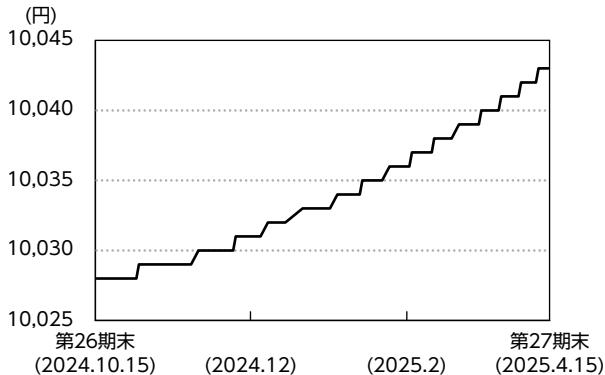
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年10月16日～2025年4月15日

基準価額額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額	
				円 % % 百万円	
23期 (2023年 4月17日)	10,027	△0.0	89.9		706
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1		720
25期 (2024年 4月15日)	10,025	0.0	83.1		1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2		1,375
27期 (2025年 4月15日)	10,043	0.1	73.1		2,007

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
			円 % %
(期首)2024年10月15日	10,028	—	92.2
10月末	10,028	0.0	64.8
11月末	10,030	0.0	72.4
12月末	10,032	0.0	63.2
2025年 1月末	10,035	0.1	63.9
2月末	10,038	0.1	70.1
3月末	10,041	0.1	74.9
(期末)2025年 4月15日	10,043	0.1	73.1

(注) 謄落率は期首比です。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

1万口当たりの費用明細

2024年10月16日～2025年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,034円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

国内	地方債証券	買付額	売付額
		千円	千円
	地方債証券	986,087	(750,000)
	特殊債券	132,159	(167,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

銘柄	買付	千円	銘柄	売付	千円
	金額			金額	
第752回 東京都公募公債	199,158	—	—	—	—
平成27年度第13回 京都府公募公債	178,963				
令和2年度第10回 北海道公募公債（5年）	174,336				
第74回 政保地方公共団体金融機関債券	132,159				
第148回 共同発行市場公募地方債	100,084				
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	89,443				
平成27年度第3回 千葉県公募公債	87,060				
平成27年度第1回 静岡市公募公債	86,953				
平成27年度第2回 兵庫県公募公債	70,087				

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

組入有価証券明細表

2025年4月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	1,338,000 (1,338,000)	1,335,735 (1,335,735)	66.5 (66.5)	—	—	—	66.5 (66.5)
特殊債券 (除く金融債券)	132,000 (132,000)	132,060 (132,060)	6.6 (6.6)	—	—	—	6.6 (6.6)
合計	1,470,000 (1,470,000)	1,467,796 (1,467,796)	73.1 (73.1)	—	—	—	73.1 (73.1)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
				千円	千円
地方債証券	第748回 東京都公募公債	0.4560	2025/9/19	87,000	87,052
	第752回 東京都公募公債	0.1260	2025/12/19	200,000	199,343
	令和2年度第10回 北海道公募公債(5年)	0.0200	2025/9/25	175,000	174,635
	平成27年度第13回 京都府公募公債	0.1100	2026/3/17	180,000	179,026
	平成27年度第2回 兵庫県公募公債	0.5010	2025/5/28	70,000	70,018
	平成27年度第3回 千葉県公募公債	0.5240	2025/6/25	87,000	87,020
	第146回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/5/23	175,000	175,070
	第147回 共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/6/25	87,000	87,052
	第148回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/7/25	100,000	100,040
	平成27年度第1回 静岡市公募公債	0.4760	2025/11/25	87,000	86,971
	令和2年度第3回 仙台市公募公債(5年)	0.0100	2026/1/28	90,000	89,504
	小計	—	—	—	1,335,735
特殊債券 (除く金融債券)	第74回 政保地方公共団体金融機構債券	0.5570	2025/7/15	132,000	132,060
	小計	—	—	—	132,060
	合計	—	—	—	1,467,796

投資信託財産の構成

2025年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,467,796	73.0
コール・ローン等、その他	542,989	27.0
投資信託財産総額	2,010,786	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	2,010,786,094円
コール・ローン等	542,151,427
公社債(評価額)	1,467,796,793
未収利息	823,967
前払費用	13,907
(B)負債	3,320,717
未払解約金	3,320,717
(C)純資産総額(A-B)	2,007,465,377
元本	1,998,869,660
次期繰越損益金	8,595,717
(D)受益権総口数	1,998,869,660口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,043円

(注1) 期首元本額 1,371,321,507円
 期中追加設定元本額 824,689,511円
 期中一部解約元本額 197,141,358円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式ファンド(毎月決算型) 10,000円
 ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定) 49,895,238円
 ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) 9,994円
 ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型) 9,984円
 ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型) 9,984円
 ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) 9,984円
 ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型) 9,984円
 J P X 日経400アクティイ・オーブン米ドル投資型 9,976円
 J P X 日経400アクティイ・ブリミアム・オーブン(毎月決算型) 9,976円
 ニッセイ・オーストラリア・リート・オーブン(毎月決算型) 9,974円
 ニッセイ・オーストラリア・リート・オーブン(年2回決算型) 9,974円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり) 9,967円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし) 9,967円
 ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型) 9,968円
 D C ニッセイターゲットデットファンド 2.0-2.5 1,948,615,369円
 ニッセイ・コムジェスト新興国成長株ファンド(資産成長型) 9,969円
 ニッセイ・コムジェスト新興国成長株ファンド(年2回決算型) 9,969円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,969円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,969円
 ニッセイシユローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,970円
 ニッセイシユローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,970円
 ニッセイシユローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり) 9,970円
 ニッセイシユローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし) 9,970円
 グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型) 9,972円
 グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型) 9,972円
 ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型) 9,972円
 ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型) 9,972円
 ニッセイシユローダー新規CBファンド2023-02(為替ヘッジあり・既定割引) 9,974円
 既定割引・既定割引・既定割引・既定割引・既定割引・既定割引 9,975円
 ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(資産成長型) 9,975円
 ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(毎月決算型) 9,975円
 ニッセイS & P 500リカバリーワーク株式ファンド 9,973円
 ニッセイ・インド株式ファンド・中大型株式ファンド 9,969円
 ニッセイ・インド株式ファンド・中大型株式ファンド 9,964円
 ニッセイ・インド株式ファンド・中大型株式ファンド 9,968円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり) 9,968円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし) 9,968円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,968円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,968円

損益の状況

当期(2024年10月16日～2025年4月15日)

項目	当期
(A)配当等収益	3,449,092円
受取利息	3,449,092
(B)有価証券売買損益	△ 749,387
売買益	625,985
売買損	△ 1,375,372
(C)当期損益金(A+B)	2,699,705
(D)前期繰越損益金	3,838,122
(E)追加信託差損益金	2,733,220
(F)解約差損益金	△ 675,330
(G)合計(C+D+E+F)	8,595,717
次期繰越損益金(G)	8,595,717

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。